

科目名	家庭教育論		科目コード	2060	
開講学科	初等芸術教育学科	単位数	2	形態	講義
教員名	児玉陽子				
授業の目的及びテーマ：					
<p>家庭・家族は時代や文化に大きく影響を受ける。家族や家庭についての基本的な知識について学び、現代家族の置かれている状況やさまざまな家庭についての理解を深める。その上で、「子どもが育つ環境としての家庭」について、様々な角度から考察を深める。さらに、子どもと保護者のかかわりについて考察し、家庭への支援についての知識と態度も学ぶ。</p>					
授業概要					
<p>家族・家庭について、さまざまなテーマで考察を深める。講義と資料や映像に基づき、自らの体験や価値観と照らし合わせながら、理解を深める。さらに、子どもが育つ場としての家庭に対して、どのような理解と支援が可能であるか考える。能動的な考察を必要とする。</p>					
授業計画：					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家族・家庭とは何か 何をもって「家族」とするのか。「家庭」のイメージ</li> <li>2 家族の歴史 現代的家族の成り立ちについて</li> <li>3 家庭の機能 家庭の持つ機能と子どもの育つ環境としての家庭の役割</li> <li>4 家庭の役割①生活習慣 自立した存在として主体的に生きるため身に付けるものが生活習慣である。子どもはどのようにして生活習慣を身に付けていくのか。その際の家庭の役割とはどのようなことか考察する。</li> <li>5 家庭の役割②食生活 個々の家庭の違いについての理解を、食生活を通して考える。生活・文化の違いと子どもをはぐくむために望ましいこととは何か。</li> <li>6 家庭の役割③しつけとは何か しつけとは何かについての理解と考察。『しつけ』という言葉の持つ意味、子どもの育ちに望ましい援助とかかわりとはどのようなことか。</li> <li>7 現代家庭を取り巻く環境① 少子化と育児不安</li> <li>8 現代家庭を取り巻く環境② 幼稚園・保育所・認定子ども園の役割</li> <li>9 支援を要する家庭の理解① 障がいのある子のいる家庭：障がいへの理解と対応</li> <li>10 支援を要する家庭の理解② 障がいのある子を養育する保護者への理解と支援</li> <li>11 支援を要する家庭の理解③ 虐待についての理解</li> <li>12 支援を要する家庭の理解④ 虐待を受けた子への理解と支援</li> <li>13 支援を要する家庭の理解⑤ 虐待をする側への理解と支援</li> <li>14 地域資源と連携</li> <li>15 家庭の役割と支援についての総合的考察と試験</li> </ol>					
テキスト	「家族心理楽への招待 第2版」ミネルヴァ書房		参考文献：		
評価方法：					
提出課題{2件}を以って評価する。					

